

市内企業を対象とした意識調査
市内団体を対象とした意識調査
えびの会会員を対象とした意識調査

結果報告書

令和 7 年 7 月

えびの市企画課

Ⅰ 調査の目的

本調査は、第6次えびの市総合計画後期基本計画の策定にあたり、市内に所在がある企業、市内で活動されている団体、各えびの会の会員の皆様からえびの市についてお聞きし、新しい計画に反映させ、今後の市政運営に活用することを目的として実施しました。

本調査結果を公表するとともに、市役所内で内容を共有し、改善すべきところは、計画策定・施策・予算へ活かしてまいります。

Ⅱ 調査の概要

各意識調査については、統一した5つの設問により調査を実施しました。

- ① えびの市の現状をどう思われますか。
- ② えびの市の良いところ/PRできるところ/自慢できることはどのようなところだと思われますか。
- ③ えびの市の課題・弱みはどのようなことだと思われますか。
- ④ えびの市をより良くしていくためにはどのような取り組み等が必要だと思われますか。
- ⑤ その他、ご意見やアイデア等ございましたら、ご記入ください。

Ⅲ 市内企業を対象とした意識調査

対象者 えびのガイドブックに掲載されている企業 30事業所
調査期間 令和7年5月30日～令和7年6月30日
調査方法 郵送による調査票配布・回収及びWEB回答
回答数 9事業所

Ⅳ 市内団体を対象とした意識調査

対象者 市内関係団体 52団体
調査期間 令和7年5月30日～令和7年6月30日
調査方法 郵送による調査票配布・回収及びWEB回答
回答数 18団体

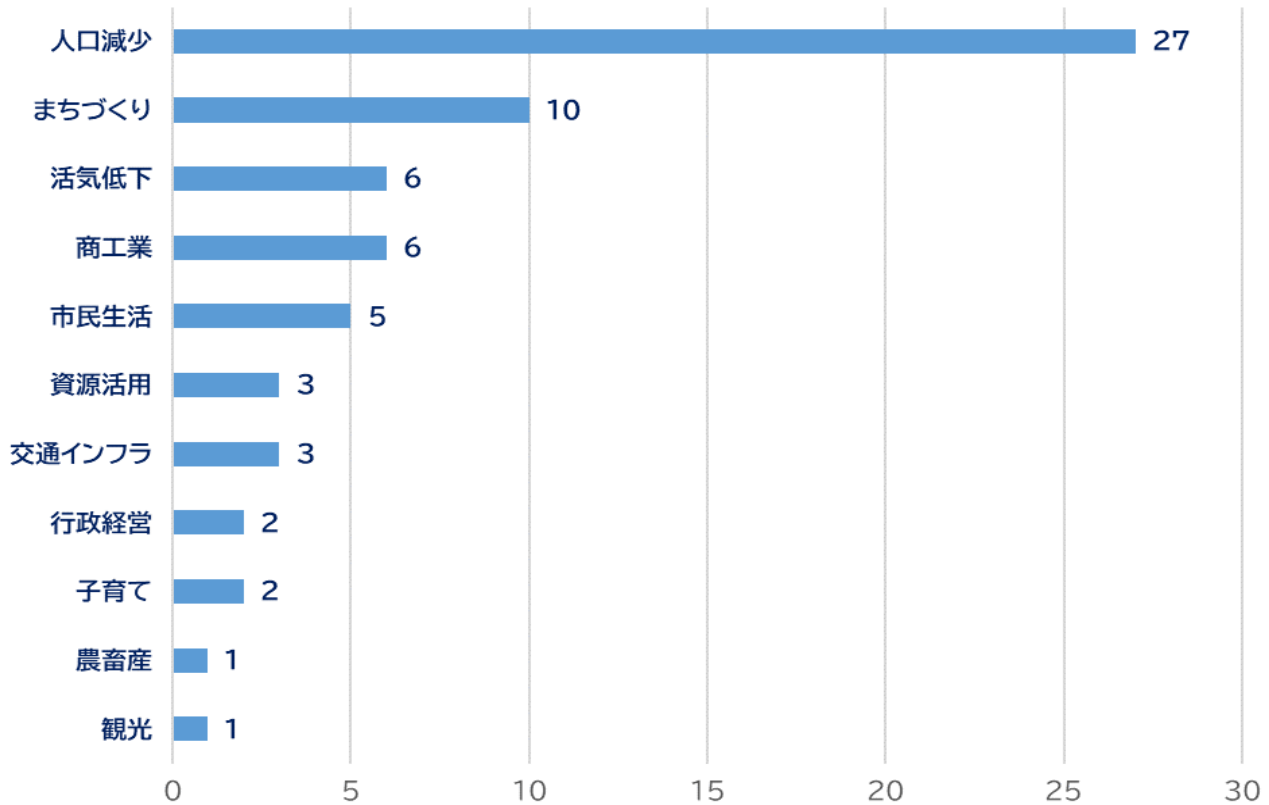
Ⅴ えびの会会員を対象とした意識調査

対象者 えびの会会員(宮崎えびの会、関東えびの会、関西えびの会、東海えびの会)
調査期間 令和7年5月16日～令和7年6月30日
調査方法 郵送による調査票配布・回収及びWEB回答
回答数 19名

1 えびの市の現状について

(問1) えびの市の現状をどう思われますか。

Ⅰ 回答内容 (分野別集計)



Ⅱ 主な意見

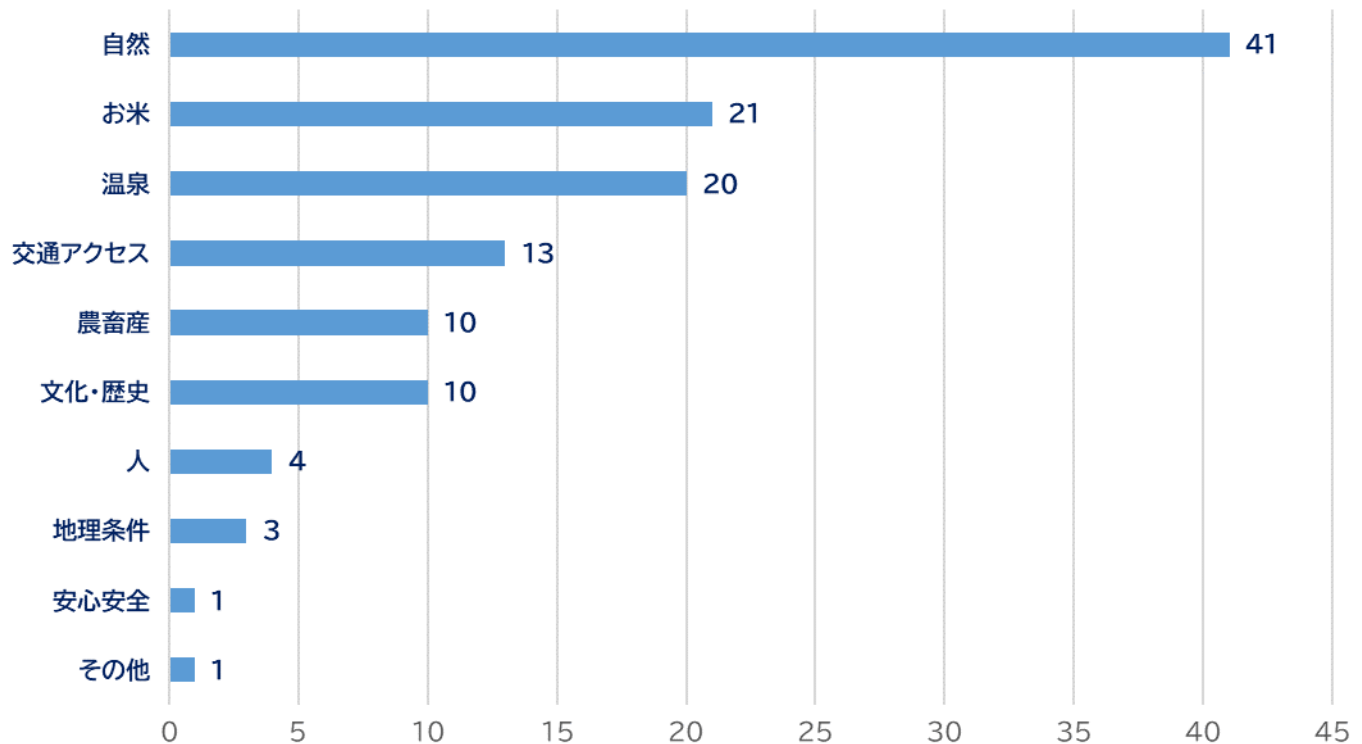
分野	回答内容 (主な意見を記載)
人口減少	・ 人口の減少傾向が継続している。若者が進学、就職をする際に市外へ行く方が多い為、若年人口が少ない。 ・ 人口減少が著しく、40代以下の若者が少ない印象がある。 ・ 人口減少の著しさは喫緊の課題。 ・ 少子高齢化と人口減少が進み、将来が心配です。 ・ 人口減少にも歯止めがかからず大変危機的状況的だと思う。
まちづくり	・ 京町温泉地区の寂れが心配。 ・ えびのIC, 道の駅えびのの周辺が企業誘致で開発が進んでいるので楽しみです。 ・ 市長、県議さらに市議などに立候補する人材が不足している。 ・ 未だに町づくりが飯野、加久藤、真幸とバラバラな感じがします。
活気低下	・ 人口減少が著しく、活気がない。 ・ 活気が感じられない。 ・ 過疎化が進み、町に活気魅力を感じ無い。
商工業	・ 技能実習生(外国人の)の雇用による人手不足補充でしか会社の営業活動が維持できていない現状はある。

	・高齢化率が高く、少子高齢化が急速な勢いが進んでおり、特に若者の労働者人口が減ってきている。 ・人口減で地域経済が、落ち込んでいる。 ・えびの市の産業は農林業ですが、それ以外で若い世代が働く場所がない。 ・過疎化、人口減少に歯止めがかからない状況で、高齢化で農業後継者も少なくなり、働く場も限られ、若者(大学、高校卒)が市内に残りにくい現状がある。
市民生活	・買い物や通勤等で、車が必須となっている。 ・外からくる人間にあまり優しくない。 ・年々とえびのの生活水準が高まっている事を感じます。
資源活用	・魅力を最大限に活かしきれていないように感じる。 ・えびの市は加久藤カルデラそして霧島という非常に恵まれたロケーションを持つ地域である。また史跡や郷土芸能の存在、さらに米など農産物の恵みは代えがたいものがある。こうした宝ともいうべきえびのの財産をほとんど生かされていないまま現在に至っているのではないか。 ・えびの市は自然条件、歴史的条件、社会的条件、経済的条件から見てもすばらしい優位性を持ちながら、これらの条件がまだまだ生かされていないような気がする。
交通インフラ	・バス、電車の本数が少ない。
行政経営	・えびの市の特性が全く生かされていなくて、10年前と何ら変わっていない様に思われます。 ・全般に可もなく不可もなくという印象です。思い切った市政にも期待したいところですが、次の市政を担う方々にお願いしたいと思います。
子育て	・子供が少なく将来が不安。 ・少子高齢化が進む中、少しずつ子育て世代への政策がなされてきていると感じる。
農畜産	・主幹産業（農業）の後継者不在。
観光	・えびの市は自然豊かな町なのに、それを生かし観光業にもっと力を入れて欲しいと思っています。

2 えびの市の強みについて

（問2）えびの市の良いところ/PRできるところ/自慢できることはどのようなところだと思いますか。

Ⅰ 回答内容（分野別集計）



Ⅰ 主な意見

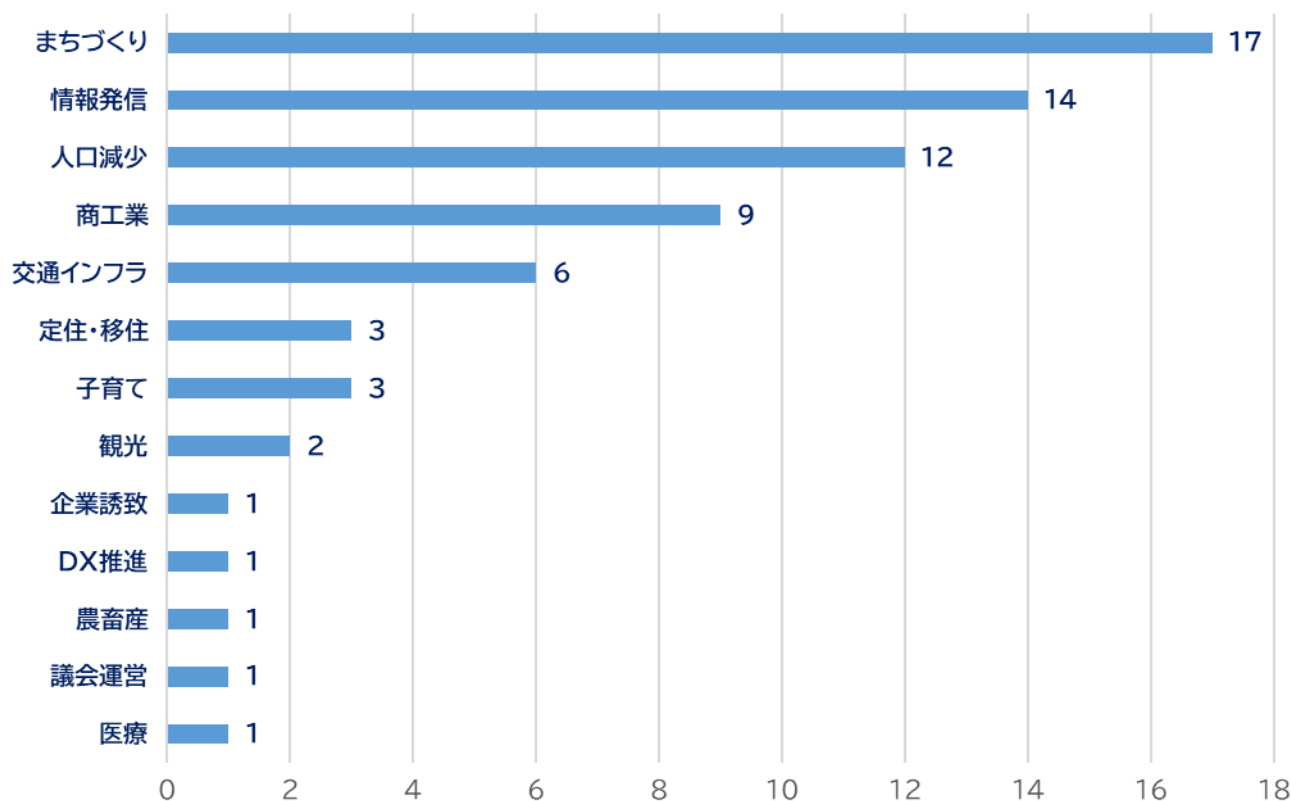
分野	回答内容（主な意見を記載）
自然	・ 自然豊かな町。 ・ えびの高原や矢岳高原を含む観光地。 ・ 都市部と比較して自然豊かな環境に恵まれ、ストレスフリーな生活を送ることが出来る。 ・ 水にも恵まれ自然環境が素晴らしい。 ・ 空気が澄んでいて景色が美しい。
お米	・ 米が美味しい。 ・ えびの米には全国的に知れわたっている。 ・ 土、水、気候とも揃いお米が美味しい
温泉	・ 観光資源として温泉があること。 ・ 豊富な温泉。
交通アクセス	・ 宮崎、鹿児島、熊本への交通のアクセスが良い。 ・ 南九州や福岡方面への交通アクセスが良い。 ・ 九州の中心に位置することで、交通物流面での優位性がある。

	・ 空港（鹿児島）に近く、ＪＲが通っていて５駅（真幸）ある。
農畜産	・ 様々な賞を受賞した宮崎牛をはじめ、畜産も盛んである。 ・ 牛肉、鶏肉、豚肉が美味しいのも自慢出来る事だと思います。 ・ 水が綺麗で農業をするにはとても魅力的だと考えています。
文化・歴史	・ 歴史的伝承や建物が多くある点。 ・ 地域の伝統行事の継承がしっかりとなされている。
人	・ えびの市の人の人柄がいいところ。 ・ 住んでいる人が思っている以上に魅力があることを知って欲しい。 ・ 市民の方々の親切で温かい人が多い所。
地理条件	・ 地理的な立地に恵まれている事。 ・ えびのの立地条件がそもそも優れている。
安心安全	・ 治安が良い。

3 えびの市の課題について

(問3) えびの市の課題・弱みはどのようなことだと思われますか。

Ⅰ 回答内容（分野別集計）



Ⅱ 主な意見

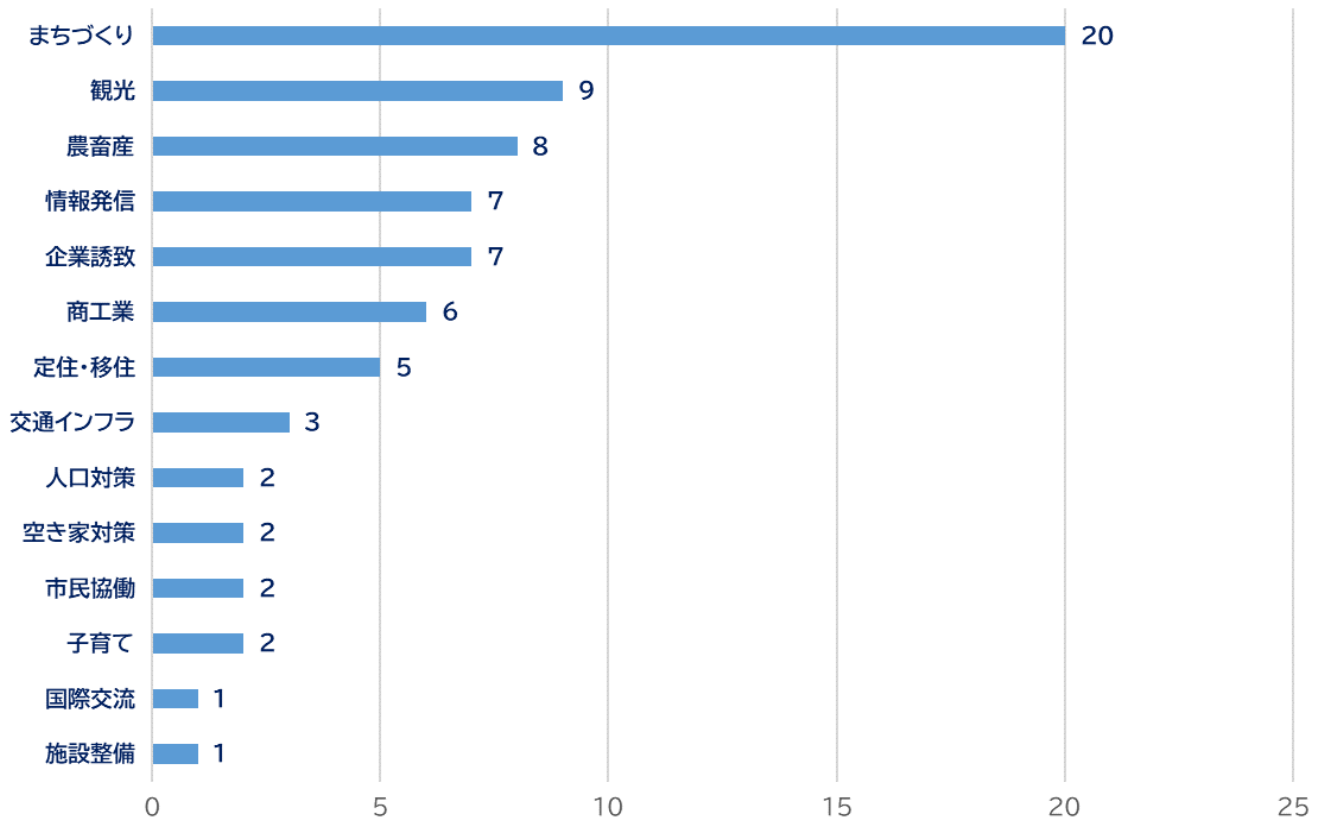
分野	回答内容（主な意見を記載）
まちづくり	・えびの市を良くして行こうとチームワークが無い。 ・一致団結することができずに、大きな機会やチャンス逃しているように思える。 ・若い人が少ない。若い人が集まる場所がない。人を集めるように市でも考えているようですが、力を入れているところが観光に片寄りすぎているように感じる。 ・唯一無二の豊かな自然の財産を活かしきれていない。お金がないとか反対の声ばかりで、先進的なビジョンや気概を示せるリーダーがいない。 ・魅力を生かしきれていない。 ・先進的な取り組みがなく、他自治体より何でも遅れて取り組んでいる感がある。 ・飯野地区・加久藤地区・真幸地区のまとまりがない。自分の地区が良ければそれで良いみたいな感じがある。 ・未だに三町合併のしこりが残っており、市全体のまとまりがみられない。
情報発信	・市民、住民がえびの市のことを十分知らないことが最も大きなネックになっていると考える。 ・発信力に課題があるのではないのでしょうか。 ・市のPR不足。

	・全国へのアピールに乏しい。効果的誘客発信の工夫。 ・慢性的なPR不足。
人口減少	・人口減少、高齢化に歯止めがかからないなか、若者人口が少なく、企業進出にも影響があり、農業の継続にも大きな課題がある。 ・若年層の人口が圧倒的に少ない。 ・若手担い手が県外に出て行く事。
商工業	・飲食店、スーパー等が少ない。 ・若い人達が働ける企業がまだ少ない。 ・大きな商業施設が無いので市民又はえびの市以外の人が来たい施設が必要だと思う。 ・働ける環境が少ない。
交通インフラ	・交通インフラ不足で、移動手段は車が主である。 ・公共交通機関が少ない、交流拠点として場所も移動手段も少ない。
定住・移住	・若い世代が定住してもらえるような政策があまりないように感じる。
子育て	・これといった収入源が乏しく、子育て世帯への政策が充実してないため、若い人が定住せず他の市町村に移住してしまう。 ・子育て支援等が充実していない。
観光	・京町温泉街がありますが、湯煙も上がってないし、わくわくする温泉街の町づくりが必要だと感じます。
DX推進	・IT社会に取り残された高齢者は全国に数多く存在します、最低えびの市民が「スマホ」を活用できるように各地区で「スマホ出張教室」を開催することも必要だと思います。
議会運営	・えびの市全体を俯瞰的に見る議員が少ない。
医療	・大病への医療機関がない。

4 今後の取り組みについて

(問4) えびの市をより良くしていくためにはどのような取り組み等が必要だと思われますか。

Ⅰ 回答内容 (分野別集計)



Ⅱ 主な意見

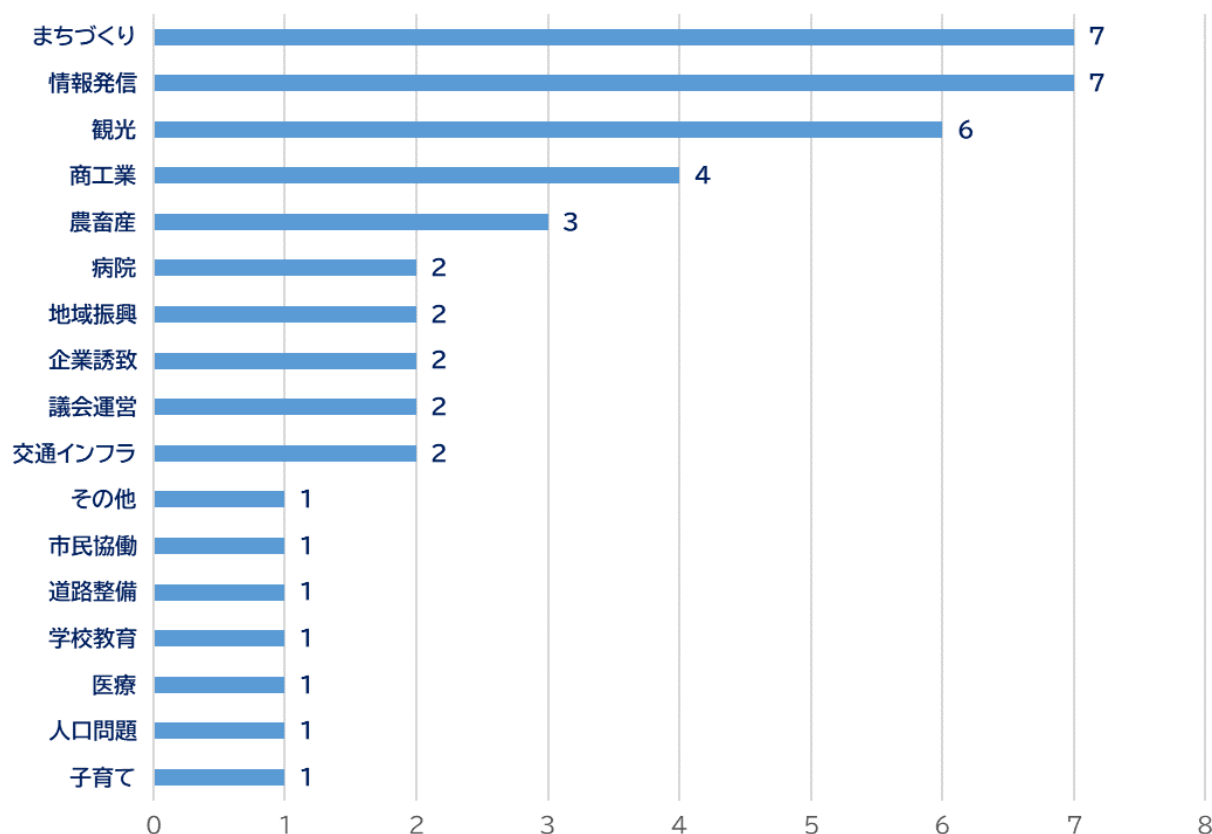
分野	回答内容 (主な意見を記載)
まちづくり	・今住んでいる人が住みやすいと感じる取組み。 ・えびの市に住むことへのメリットを感じる政策。 ・市内外、県内外、国内外からの人を呼び込める魅力的な整備された環境を整えPRしてほしい。 ・職業にとらわれずえびの市内での交流を増やすべき、横の人間も知らないのに外の人間を呼んでも魅力が伝わらない。 ・政治家、行政職員、市民団体等に優れたリーダーが必要である。 ・互いに切磋琢磨し合う環境だったり、意欲的に頑張っている人を応援する体制が必要。 ・各地区がまとまり、温泉を生かした活動(施設)等を考える必要がある。 ・行政、市議会、自治会組織等だけでなく、広く若者(学生を含む)や、有能な各団体、企業等の意見をどんどん取り入れ、えびの市に住んで良かった、住みたいと思えるような思い切った施策を行なっていただきたい。 ・市役所職員全員が積極的、前向きに市民を巻き込んだ各種行政をみんなで考えて実行することだと思います。
観光	・観光客が素通りしない宿泊設備と湯布院のような観光地。

	・近隣地域と連携した観光事業の構築。 ・観光業に力を入れ、又、古民家再生、民宿も押し勧める。 ・昔ながらの地域のお祭りの再生、住民一丸となり取り込む。
農畜産	・道の駅えびのを最大限活用し、えびの特産品の販売拡大と知名度（ブランド化）の宣伝活動の強化。 ・農産物を生かした加工商品を作る。 ・関西でも、えびの市の農産物、加工商品を販売して欲しい。 ・米以外の農産品のブランド化。 ・道の駅を拡大化して地産地消を促す。
情報発信	・人が集まる為の資源や魅力を確保し、SNSで広報してください。 ・こまめなSNS配信。
企業誘致	・人口減少を防止する為に、市内に若者に魅力ある職場を提供するとともに、すでに完成している産業団地が一日でも早く埋まるようにもっと積極的な誘致活動をする必要がある。 ・若者が就業する企業の誘致。 ・働く場所の確保のためにより一層企業誘致に取り組んでいただきたい。
商工業	・産業団地を上手く使い、地元出身者が帰って来てくれる環境作りが必要かと。3万人を目標に、働ける魅力ある職場、外に無い環境。 ・宿泊施設の充実！外から人を呼び込む工夫。 ・どのように雇用を生み出し、収入を上げていくのかを考える必要があると思う。
定住・移住	・財政的には厳しいかもしれないが、税的優遇措置などの支援をして定住者を増やす政策が必要だと感じる。
交通インフラ	・公共交通機関の充実等による交通インフラの整備。
人口対策	・地の利を活かした交流人口の増加による外貨獲得。 ・若い世代の人口を増やして活気ある市にする必要があると思う。
空き家対策	・市として「空家対策係」を新設し積極的な取り組みを実施する。
市民協働	・市民と行政。官と民。簡単ではないがここを掘り進めることが最も必要。とくに市役所職員は本気になってほしい。 ・庁舎内でも庁内協働推進会議が設置され意識改革を図っているようであるが、このような部署とコミュニティセンター・まちづくり協議会との意見交換、情報交換を是非取り組んでほしい。
子育て	・若い世代や子育て世帯にもっと優しい政策。 ・子育てしやすい環境で補助金支給の充実を図り、空家(古民家)を活用して移住者を誘致する。
国際交流	・国際交流都市としての強みを活かして、外国人材が結婚後も子どもとともに住み続けやすい都市としての取組。
施設整備	・プロチームの合宿や試合が行えるような、複合的な体育施設を作る。

5 その他の意見・アイデアについて

(問5) その他、ご意見やアイデア等ございましたら、ご記入ください。

Ⅰ 回答内容 (分野別集計)



Ⅱ 主な意見

分野	回答内容 (主な意見を記載)
まちづくり	・ 主要団体トップと若手による先進地視察の実施とプラットフォーム団体の立ち上げ。 ・ 既に先進的な取組を行なっている個人や企業との積極的なコラボによるイベントの継続的实施。 ・ 幅広い意見を吸い上げるため行政と議会そして市民団体とが合同し、定期的な例会を作ってほしい。 ・ 似たような団体がいくつもあるので細々と予算を消化せず、ある程度まとめてはかがでしよう。 ・ 若人を地元根付かせるための施策の立案と実施。
情報発信	・ えびの市が何をしているのか、何をしたいのかまだ伝わっていない。 ・ 行政としてはHP等を通じ、頑張ってる「えびの市」を全国に発信して欲しい。 ・ 宮崎出身の芸能人にえびの市に来てもらいYouTubeなどでアピールしてもらう。 ・ 頑張ってる「えびの市」をPRする事で、共感しふるさと納税をする人も増えるのではないかと考える。 ・ 民間トラックの荷台に霧島連山、温泉マーク、稲穂の絵に「住んで良かったえびの市」「住みたい温泉町えびの市」などPRしてはどうでしょう。

	・市が県に働きかけ、県が全国的に宮崎県の各町の風物詩などの紹介を積極的に実施してはいかがでしょう。
観光	・約34万の噴火でできた「加久藤カルデラ」のロマン彷彿させるサイクリングを実施。 ・レンタサイクル等利用して、各所名跡めぐりをする。 ・京町、吉田、白鳥温泉を生かして、民泊、山菜取り、キャンプ客を呼び込む、リピーターを作り上げる。 ・えびの市を貫く川内川河畔にサイクリング道を整備し、それを幹として自転車で見たい、体験したい場所に枝分かれしていく、そんな環境に優しい観光を推進する。 ・サイクリング電車の新設。
商工業	・人材不足にて事業を継続していく為、外国人雇用を進めています。外国人雇用の為の費用が大きく、紹介料や支援費、居住費など補助金等の支援があればとても助かります。 ・スポーツ誘致に伴う宿泊場所の拡充。 ・市が補助して移動販売車を充実させて、高齢者の支援に力を入れ優しく住みやすい環境作りに努める事で人口増加を図る。 ・在宅ワーク者への住居などリノベーションした建物を増やす。 ・道の駅や飲食店での観光客向けにクーポン券などの活用。
農畜産	・えびの米の振る舞いや格安での販売を、行政やJAと協力して、道の駅でイベントを開催すれば、集客につながると思います。 ・他産のブランド名のお米と比較してえびの市産「ヒノヒカリ」も引けを取らないお米なのでもっと広く「宣伝」してほしいです。 ・米、焼酎、フルーツなどえびのブランドを作る。
病院	・子供の出産でも都城や宮崎に走らないと行けない状況は、人口減の原因の一つです。
地域振興	・若者が他県から来たくなるようなイベントを行う。
企業誘致	・観光関係の県外企業の誘致等、豊富な観光資源を活用し地元と連携した開発が必要。
議会運営	・えびの市議会議員の定数削減が取り出されているが、人口の割に議員数も多く、また5～6期以上の議員もいることからこの機会に定員を削減するとともに、議員の若返りを図る必要がある。
交通インフラ	・肥薩線（人吉ー吉松）が復旧できれば、矢岳高原、真幸駅が観光資源となり、人の行き来も多くなるので一日でも早く肥薩線前線の復旧開通を望みたいです。
市民協働	・コミュニティセンター、まちづくり協議会の役割を理解していただくためにも、気軽に関係課職員、議会議員等も足を運んでもらいたい。
道路整備	・インフラ整備も大変だとは思いますが必要な道路整備を迅速に行っていただきたい。
学校教育	・学校の統合化による子供達の学習環境やスポーツ環境の充実。
医療	・子供の出産でも都城や宮崎に走らないと行けない状況は、人口減の原因の一つです。
子育て	・子育て世帯への手厚い助成。